

The English Training Tour in Australia

川崎 正美¹⁾

Masami KAWASAKI

We carried out our first English training tour in Australia from 1st September to 14th this year. I made up the plan very carefully and everything went according to the plan. All the students were happy and the event was successful. In this paper I looked over the event and analyzed this tour as a whole. The plan is appropriate, but there are some things to be changed to make this tour a better one.

Keywords: English, tour, Australia.

1. はじめに

2009年9月1日から14日まで、本校学生26名参加の第1回「オーストラリア英語研修ツアー」が実施された。本論文は、本ツアーの今後の更なる発展のために、計画段階から下見、事前指導、実施、事後指導などについての記録をまとめたものである。

2. 骨格の検討

2009年2月、次年度実施可能な海外英語研修の原案を策定するよう、管理職から国際交流室に依頼があった。4月には告知活動を行い、参加希望者を募らなければならないため、多くの議論を経ている時間的余裕はない。そのため、以下の観点から検討を行い、概要を策定することとした。

(1)参加対象者、(2)期間、(3)日程、(4)費用、(5)渡航先、(6)実施の目安、(7)宿泊先、(8)英語学校、(9)日本での指導、(10)引率、(11)単位認定、(12)その他

(1)実際にどの程度の需要があるかの調査を行わずに始めた企画であるため、学年を限定することは難しいので、全学年を対象とすることにした。また、申込者が多数の場合に備えて、30名を上限とし、それを超えた場合は上級生を優先することも取り決めた。

(2)期間は金額と効果とのかね合いになるが、現地で英語学校に通い、ホームステイをして家族と触れ合って英語力をつけるためには、最低2週間は必要であろうと判断した。

(3)期間を2週間とした上で、現地に到着した初日に、翌日から始まる英語学校のクラス分けテストを行い、ホストファミリーに引き渡し、最終日に全員がそろって飛行場に向かうことのできる日程を組み立てた。この間、博物館見学や港湾施設見学などのアクティビティーを取り入れて、充実した行事になるよう工夫した。日程表は図1に示した通りである。

(4)費用は、低いほどよいのは当然であるが、英語学校の授業料や1日3食提供してもらおうホームステイの費用などがあるので、25万円程度を目安にすることとした。(実際には263,000円に落ち着いた。)また、ローン返済も利用できるよう工夫した。

(5)渡航先の決定には頭を悩ませたが、治安の良さ、日本(人)との関係、航空運賃、教育旅行に関する経験などを勘案して、オーストラリアとした。また、落ち着いて学習できるように、大都市や観光地は避けて、ブリスベンとした。

(6)航空運賃の団体割引の関係で15名以上の参加が実施の目安となった。また、企画の時点では想像もしなかった新型インフルエンザの流行があり、この動向を踏まえて、7月28日に学校としてこの行事を実施するかどうかの最終判断をすることとした。この時点で行事を全てキャンセルしても、キャンセル料は全く発生しないからである。実際、いったんはお金を払い込んだものの、家庭の事情により7月末に参加をキャンセルした学生は、全額返金されている。

1) 都立産業技術高専 一般科目

(7)前にも述べた通り、学生の宿泊先はオーストラリア人の家庭とした。英語の学習のみならず、異文化の生活を実際に体験することが学生にとって大切ではないかと考えたためである。また、学生同士が甘えないように、1家庭に1学生が滞在することとした。中には複数の学生を受け入れているファミリーもあるが、本校の学生ばかりでなく、他の日本人が入らないようエージェントに依頼した。

(8)英語学校は、歴史が長く信頼できる学校で、なるべく1クラスの人数が適正で、複数の本校学生が同一クラスにならないよう、ある程度規模の大きさが要求される。12~3名の多国籍の学生でなるクラスで、英語のみならず人として必要なコミュニケーション能力を養ってもらいたいためである。こういった観点から **Sarina Russo** を選択した。また、修了証を発行してもらったこととした。図2・3は修了式で、学生が校長から実際に頂戴した Certificate の見本である。

(9)参加者説明会の他に、旅行やホームステイに必要な英語やオーストラリアの基本的な知識を身につけさせるために事前学習を行い、事後にもまとめのための時間をとって、レポートを提出させることとした。

(10)引率の人数は多いほど安心であるが、予算とのかね合いもあるので、最低限の2名となった。

(11)事前や事後に相当時間の英語の補習を行い、現地においては英語学校での授業は言うに及ばず、ほとんど24時間英語を学習する環境に身を置くわけであるから、学外修得単位として認定するよう学校側に働きかけたが、今年度は見送られることとなった。

(12)その他、行事実施前、実施中の学生や引率教員の怪我・病気などに対する対応について十分検討を加え、「危機管理マニュアル」を作成した。これはかなり完成度が高いものなので、ほとんどこのまま来年度以降引き継がれることになるだろう。

3. 告知活動

4月始業と同時に、クラス担任の先生方に各クラスへポスターの掲示と同時に簡単な説明をお願いした。外国語科の先生方には更に詳しい資料をお渡しして、各担当授業クラスでの告知をお願いした。その他質問のある学生に対してはそれぞれのキャンパス担当教員が対応した。保護者に対しては、校長名の案内文書を学生を通じて届けることとした。保護者からの質問に対しては、両キャンパスの窓口を一本化することとして、今回は品川キャンパス在籍の国際交流室長が担当することとした。様々な問い合わせに対して、解答に矛盾が生じないように配慮したものである。実際多くの問い合わせがあり、このやり方は非常に効果的であった。

4. 説明会

学生、保護者からの個々の問い合わせに対して対応するのは別に、興味のある学生と保護者に対して5月9日(土)に説明会を行った。この説明会では旅行取扱業者の紹介と、大まかな日程、参加費、保険の費用などの説明を行った。荒川・品川両キャンパスからほぼ同数ずつ合計40名ほどの参加者があった。参加者はほぼ全員行事への参加を前提としているようだったので、この時点で実施の実現性が強く感じられた。活発な質疑応答があり、3時間程で会は終了した。

5月末に参加申し込みを締め切ったところ、荒川・品川両キャンパスからほぼ同数ずつ合計35名の申し込みがあった。全員参加を認めたかったのだが、第1回目と言うこともあり、当初前提通り30名以下の人数に調整しなければならない。始めから上級生を優先させると通知しておいた通り、心苦しかったが、7名の1年生には今回はご遠慮いただき、参加者を28名に絞り込んだ。

この28名の学生と保護者に対して、6月27日(土)に説明会をもった。オーストラリアでも新型インフルエンザが流行している状況を踏まえて、行事を実施するかどうかの学校としての最終判断は7月28日(火)になされる

(キャンセル料が一切発生しない)ので、その時点では実施を前提に必要な事務手続きを粛々と進めるとお話しして会を始めた。旅行取扱業者からパスポート取得に関してやホストファミリー選定に関しての必要な手続きを行った。学生・保護者からは、現地での生活についていくつか具体的な質問があり、気分が少しずつ盛り上がっていることが実感された。

5. 実地踏査

当初の計画では5月に行う予定であった実地踏査は、新型インフルエンザの影響で延期されたが、6月8日(月)から12日(金)にかけて、実際の引率が予定されている教員2名によって行われた。

ブリスベンでは天候にも恵まれ、本隊で学生が学習する予定の英語学校や、学生が訪問する予定のいくつかの施設を訪れ、貴重な現地情報を手に入れることができた。また、**Sarina Russo** では修了証の発行と同時に、学生個々の学習状況について担当教員からコメントを出してもらうことも、この実地踏査で取り決めることができた。図4はその progress report の見本である。

6. 事前指導

事前指導は8月8日(土)、9日(日)、22日(土)、23日(日)、31日(月)の5日間に渡って行われた。内容は以下の通りである。

8日(土)、9日(日)は午前9時から12時まで、出国から帰国までに必要な旅行英会話の学習を、自主作成教材を用いて行った。英語と同時に、税関や機内で必要な知識も身につけさせることができた。また、学生の健康状態を把握するために、本校品川キャンパスで学校行事を行う際に使われる「問診票」を用いて、参加者全員に対して調査を行い、必要な学生については学校医によって診察を行ってもらったこととした。

22日(土)、23日(日)も午前9時から12時まで3時間ずつを費やした。22日は自主作成教材を用いて、ホームステイに必要な知識と基礎的英会話の学習を行った。ホテルなどの宿泊施設とは異なる環境であるので、異文化の家庭に滞在する上での注意事項は、学生に十分理解させておかなければならない事柄である。この点にはかなり気を遣って指導した。また、学生がお世話になるファミリーのデータもこの日に学生に渡すことができた。23日は予備日としていたため、オーストラリア関連のDVDを見せて終了した。

31(月)は出発前日、学生の準備状況や体調の最終チェックの位置づけとした。両キャンパス看護師の先生から健康管理についてのお話をいただき、翌日成田での集合時間・場所などの確認をして、早めに終了した。

7. 行事实施

1日(火)、19時集合としていたが、それより大分早く来ている学生も何人かいたため、順次搭乗手続きを始めさせた。全員が手続きを終了した19時30分に再集合し、保険などの説明を添乗員にしてもらい、校長から激励の訓辞を頂いた。その後搭乗ゲートに向かった。ちなみに、学生主事や担当事務の方が見送りに来て下さり、集合やチェックインの際の学生の交通整理にあたって下さった。引率者は自身の出発手続きもしなければならぬため、この点は、大変助かった。セキュリティチェック、出国手続きなどの要所に引率・添乗員を配置して学生の手助けにあたった。21時28分(日本時間)離陸。機内ではあまり眠れない学生が多いようだった。

2日(水)、07時04分(豪時間)着陸。手荷物検査、入国手続きに際し、ここでも要所に人員を配置して学生の手助けにあたった。全員を集合させ、バスに乗り込み、スケジュール通りMT. Coot-tha展望台に到着した。飛行機を降りたときから乗り物酔いの症状を示していた学生が、ここで一番つらそうだったが、高台で新鮮な空気に触れて、だいぶ快復した。15分ほどブリスベン市街の眺望を楽しんだ後、Lone Pine Koala Sanctuaryに移動した。こちらでは2時間ほど時間をとってコアラやカンガルーなどの動物たちとゆっくり触れ合うことができたので、乗り物酔いは完全に解消されたようだった。

10時過ぎに出発し、Sarina Russo英語学校に到着。7階ホールに荷物を置かせて頂き、Queens Street Mallにあるフードコートで各自昼食をとらせた。ここで初めて英語で食べものを注文することになるのだが、苦勞しながらもそれぞれ食べ物を手にいれ、おいしそうに食べていた。

再び学校に戻り、Jane校長の挨拶の後、学校についての説明が行われた。その後、翌日から始まる授業のクラス分けテストが行われた。リスニング15分、文法15分、リーディング20分、ライティング25分のテストの後、一般的な施設案内があり、その後グループに分かれて、スピーキングのテスト、キャンパスツアー、ホストファミリーの確認などが行われた。また、学校としての予定表(図5・6)も配布された。

また、早速(図7)に示したような宿題が課された。この宿題は、翌日までにファミリー内の約束事などを聞いてくるように指示してあるもので、学生が受け入れ先のファミリーとうまくなじめるように工夫されている、素晴らしい「宿題」であった。そのうちファミリーが迎えに来て、一人また一人と連れられていき、4時半ころには全員引き取られていった。

3日(木)、8時00分学校の地下カフェテリアで学生の点呼、状態チェック、毎朝提出させることにしていた日誌の回収。以降、平日は毎朝8時からこの場所で点呼を行うことになる。心配していた最初の通学だが、交通渋滞で何人か遅刻した以外は、ほとんどが8時過ぎには集まってきた。緊張しながらも、昨夜はよく食べ、よく休んだようであった。体調不良者は一人もおらず安心した。乗り物酔いをする学生も、ルームメイトの外国人少女と話しながら通学してきたので、フェリーに乗ったにもかかわらず、乗り物酔いは全くなかったそうである。前日学校から渡された宿題は、全員が済ませてきていた。頼もしく思えた。ランチのお弁当は、それぞれ内容に違いはあったが、それなりにしっかりしたものを作ってもらってきていた。家にランチを置き忘れたという学生が一人いた。自分で買わせ、帰ってから置き忘れたことを謝ることができるよう英語を教えておいた。遅刻者は数名いたが、これは夜のテレビニュースにもなった交通事故による大渋滞が原因であるので、特段問題なく全員が授業に出席した。

なお、この朝の点呼は、緊張を強いられている学生にとって、仲間と顔を合わせ、ほっとできる貴重な時間となっていることが後で判った。参加者の誰一人ホームシックにならずに済んだのは、この時間によるものも大きかったと思われる。また、引率にとっても、今後の予定を学生に連絡できる貴重な時間であり、これをスケジュールに載せたのは画期的なことであった。これから平日は8時30分から授業が始まり、午前中にReading、

Grammar、Speakingの授業を1時間ずつ行い、12時に終了するというパターンが続く。

この日は13時に学校前に再集合し、レベッカ先生による英語のガイドで、ブリスベン市内を見学した。先生の説明はまだ学生にはほとんど聞き取れない状態だったが、ところどころ通訳して手助けしてやった。15時終了。付近の地理情報は十分得ることができたと思われる。

登校するときはファミリーに送ってもらい、帰りは自分で帰るようにいわれ、その方法も教えてもらっていたはずなのに、理解が不十分で、帰り方が分からない学生が6名ほどいた。学校に連れて戻り、スタッフの方に教えていただき、それぞれ一人で帰宅させた。

4日（金）、オーストラリアの乾燥した気候で、アトピーが悪化した学生がいて、持参した薬を自分で塗っていた。この日は午後のアクティビティーがないため、12時から門限までは各自自由行動となる。Mallで買い物をする学生とSouth Bank（博物館、人工ビーチなどがある）を訪れる学生がいるので、引率、添乗員で手分けして4時過ぎまで付近を巡回した。

5日（土）、6日（日）、両日とも引率と添乗員は9時頃から16時過ぎまで市内を巡回した。筆者は10名ほどの学生と市内で遭遇した。そのうち6名はグループで行動しており、飲料水を安く売っている店を教えてやった。ステイ先のお父さんに連れられて市内を散策している学生にも出会った。学生はまだかなり緊張しているようで、すぐそばに来るまで気づかないのだが、目と目が合ったときのほっとした表情はいまでも忘れられない。このような形でも、外国ではかなり学生の力になってやれるので、巡回していてよかったと感じた。それほど大きな町ではないので、巡回中に学生と会う確率はかなり高い。

7日（月）、遅刻者が6名ほどおり、心配したが、原因は①月曜の交通渋滞、②所定のバス停で降りることに失敗した、③北と西のバス路線がストを行っていた、の三つで、最大45分遅れで全員が授業に出席した。全線ストの場合は事前通告があるそうなのだが、一部路線ストの場合は通告なしで突然行われるのはこちらでは普通のことだそうだ。来年度本研修が実施されるなら、参加学生には教えておいてやるべき情報の一つだと思った。

午後は再びレベッカ先生の案内でQueensland工科大学とそれに隣接する植物園を尋ねた。大学では職員のクレアの案内で校内を見て回ったが、図書館やプール、食堂など一般的な施設案内ばかりだったので、実験設備は見られないかとリクエストしたところ、授業中ということで無理であった。次回は事前にアポを取っておくべきであろう。学生数4,000人を抱える大学なので、内容が充実していることは伺えるのだが、この大学と高専とで何ができるのかを考えてから次回また訪れたいと感じた。

これに関しては専門学科の教員に考えてもらわなければならないテーマであろう。広大な敷地に、ゆったりと施設が配置され、多国籍の学生が行きかっている光景を目の当たりにして、非常にうらやましく感じられた。本校学生も触発されたようだったが、この大学への進学はTOEIC換算550点以上の英語力と半年100万円を超える授業料が大きな障害となるであろう。

その後、境を隔てる柵すらない状態で隣接する植物園を散策した。途中で現地の若者グループと出会い、肩を組んで記念写真を撮ったりした。オーストラリアでは小学校でアジアの言語をひとつ選択して学習するので、中には「こんにちわ」、「さよなら」などのフレーズを知っている女子がいたりなどして、ちょっとした楽しい文化交流が行われた。16時にシティに戻り、解散した。

8日（火）、朝から快晴。非常に日差しが強い。この天気はこれから1週間続くという予報なので、帰国まで雨の心配はないようである。交通渋滞などで2名の遅刻者がいたが、全員元気である。中にはいつもの夕食に不満があったため、「パスタかピザが食べたい」と話したところ、昨日の夕食はピザが出て、とても嬉しかったなどと話す学生もいた。海外での生活では、思っていることをきちんと表現することが大切だと指導してきたことが形となって現れ、筆者もうれしく思った。

午後はブリスベンの港湾施設見学を行った。バスでは日本人ガイドのアミさんが日本語で説明して下さり、現地に着いてからは港湾会社（港の施設はブリスベン市で所有している）のピーターさんのガイドで英語の説明を受けた。ピーターさんはゆっくりと標準的な英語で話して下さったので、学生たちの反応も良好だった。ホールに通され、ピーターさんの自己紹介の後、12分ほど広報DVD見てから、バスで港内を視察した。荷物の積み下ろしなどほとんどの作業がコンピュータ制御されていて、日本からの輸入車がずらりと並んでいる広大な駐車場や、日本へ輸出する膨大な量の石炭の山などを目の当たりにして、日本とこの国の関係の深さを実感することができた。実際こちらで走っている車のほとんどはトヨタ、日産、三菱、スズキである。また、ブリスベン港の輸出入量のわずか2%がヨーロッパ相手で、それ以外のほとんどはアジアが相手だそうで、日本はアジア第3位の貿易相手国だそうである。日本向けの石炭を満載して20両以上もつながって港に向かって走っている貨物列車と帰りのバスがすれ違ったときは壮観だった。車に弱い学生は辛そうにしていたが、無事行事を終えた。

9日（水）、遅刻者がいなかったのはこの日が初めて。午後、学生はフリータイム。ほとんどが市内見学をするということだった。チャイナタウンに行く学生も少数いたので、引率、添乗員手分けした巡回にあたった。チャ

イナタウンは規模が小さく、しかも中心を走る道路が工事中だったため、学生たちはさしたる収穫もなく、大体は市内見学をしたようである。特に、水曜日のみに開かれるフードマーケットは野菜、果物、生肉、ケーキ、チーズ、お菓子、ヨーグルト、ホットドッグなどバラエティ豊富なお店が100件前後開店しており、こちらを訪れた学生は楽しんでいただけたようだった。

夜は Sarina Russo の校長のジェーン先生、日本人職員の方と我々で夕食会を行った。3時間くらい楽しく時間を過ごした。ジェーンさんのお話によると今回の26人の学生について悪く言う教員は誰一人としていないとのことだった。決してお世辞ではなく、これまで日本人を含めていろいろな外国人を受け入れてきて、みな熱心な方の部類に入るとのことだった。先生方も本校学生に好感を持ってくださり、金曜日の修了式に参加したい（教員は強制参加ではない）と校長に申し出る先生方もいるとのことだった。

10日（木）、本日は何クラスか授業参観をした。2時間目の文法と3時間目の会話のクラスをいくつか見せて頂いた。全部で6クラスほど見て回ったのだが、13名程のクラスで最大5名の本校学生が一緒になっていた。本校参加者のほとんどが初級に分類されるため、仕方ないことだと思われる。文法は前置詞の使い方を教えていた。これは当然日本で学習済みのはずなのだが、後で学生に尋ねたところ、とても役に立ったとのこと。本校1~2年生の英語の授業のどこかで前置詞のまとめをする必要があると感じた。会話の授業はニュージーランドについて知っていることを話すという内容だった。いろいろな国籍の学生の中で本校学生もがんばっていた。

午後はアクティビティーとして Queensland 博物館、美術館を見学した。美術館は現代アートを展示しているのだが、アボリジニアート風の作品にはハッとさせられるものがあった。博物館はオーストラリアの自然、文化、歴史などについて音響や映像をうまく使って、わかりやすく展示していた。学生の反応も良好であった。

9月11日（金）、早最終日である。午前中の授業終了後、引き続き12時から校長も出席して Graduation Ceremony が行われた。その後場所を移してパーティー。半数ほどのお父さんお母さんが参加していただき、感動的で楽しいセレモニーが行われた。1時半頃終了し、翌日の練習なのか、ブリスベン川上空をジェット戦闘機が超低空飛行するというので、10名ほどの学生と見物に向かう。日本ではとても考えられないような低空で飛来した戦闘機の轟音に一同大いに驚かされた。

9月12日（土）、8時20分に集合して Springbrook 国立公園（世界遺産）に向かう。2時間ほどかけて現地に着き、Lookout からの南半球最大の広大なカルデラ地

形の眺望を楽しんだ後、2kmほどのハイキングに出発した。途中ガイドから地形や動植物の説明を受けながら1時間半ほどかけて出発点に戻り、昼食をとった。世界遺産に登録されている自然の中に身を置いて、学生たちはそれぞれ得難い体験をした感慨にふけっていた。ツアー終了後、世界遺産の"Gondwana Rainforest of Australia"を訪れたという証明書が参加者一人一人に渡されたが、これも思い出に残る出来事であった。

帰りは途中ゴールドコーストで1時間ほど時間をとり、午後5時半にブリスベンに戻った。19時からシティファイアーと呼ばれる大きな花火大会があるため、学生たちは事前にファミリーと相談しており、家族と一緒に、あるいは個人で、または何名かで連れ立って花火見物に出かけていった。花火はジェット戦闘機の超低空飛行を合図に開始され、1時間ほど夜空を焦がして終了した。本ツアーの最後を飾る素晴らしい演出になった。

9月13日（日）、予定通り、14時頃から三々五々ファミリーに送られてきた学生がホテルに集合。全員がそろったところで本研修の感想文の用紙を渡し、記入させた。ツインルームの使用法を説明した後、夕食まで自由時間とした。

18時、ホテル近くの日本人が経営するラーメン店でそろって夕食。ここの評判はあまりよくなかったため、来年は改善する必要があるかもしれない。明日は出発が早いので（6時予定）、早く床につくよう指示して解散した。

9月14日（月）、案の定、寝坊による遅刻者が数名いたが、6時15分ホテルを出発。30分ほどで飛行場に到着、搭乗手続きの後、30分遅れの9時15分、離陸。17時（日本時間）、成田に着陸した。出迎えにお出で下さった学生主事と合流。学生主事、引率、添乗から学生に話をして解散した。

8. 事後指導

事後に行事全体を振り返って、今後に生かす機会を設けるため、事後の指導日を設けようと考えたが、夏期休業中の授業等と重なり、実施することはできなかった。ただし、2・3年生はオーストラリア政府観光局主催、オーストラリア政府国際教育機構、財団法人日本修学旅行協会、日本教育新聞社後援の「オーストラリア教育旅行フォト&エッセイコンクール」に応募することで、学校に対する報告に代えることとした。4・5年生も2・3年生に準じた報告書を作成することとした。

9. まとめ

学生から寄せられた感想文をとりまとめ、引率にあたった教員の感想なども含めて、10月に本行事に対する国際交流室としての総括を行った。

外国で一定期間暮らすことによって、広い視野をえて、学生の人格は大きく変化した。英会話をスムーズに行うために必要な、国際人としての基礎を参加学生たちは身につけることができた。また、今後の英語学習に対する動機付けともなった。オーストラリアに永住したいなどと言い出す学生が出るほど、オーストラリアの人々との交流にも成功した。大成功裏に終わった本ツアーであるが、来年度第2回目の実施に向けて、改善すべき点が何点かある。以下、問題点を列記する。

(1)本論でも述べたが、学外修得単位認定について今回は見送ることになった。国立高専の実績なども踏まえて、単位認定は是非認めてもらいたいところである。

(2)本研修旅行は、どうしても9月実施とせざるを得ない。夏期休業中に行われる授業など(第4学年の東京工学、第3学年の集中講義、インターンシップ)との事前の調整が必要であった。今回は管理職、教務室の厚意で個々の学生に適切に対応することができたが、今後は更に慎重な日程調整が必要である。また、学校行事が重なる可能性がある点については、事前に学生・保護者に通知しておく必要があった。

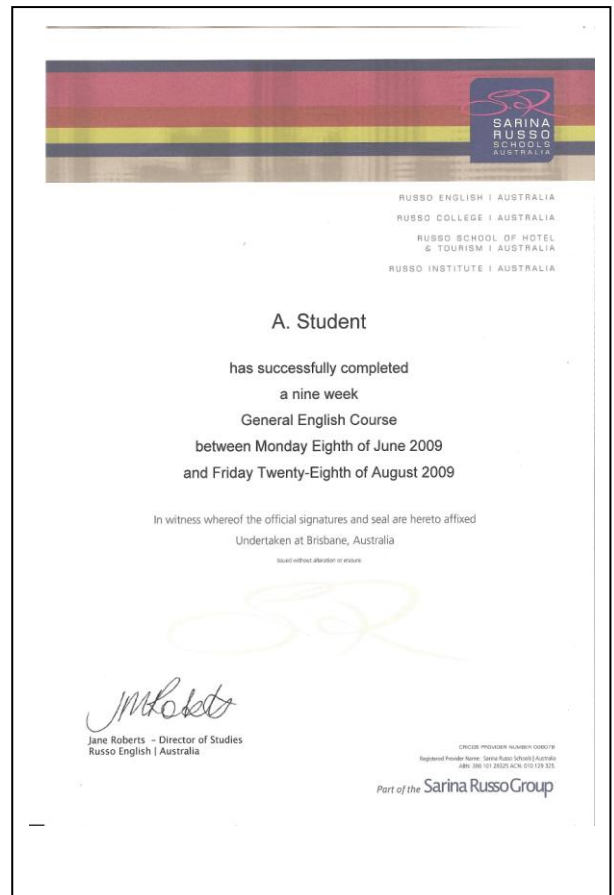
(3)今回、参加希望者は事務の窓口で直接応募書類を提出することにしたので、応募の時点では担任のチェックが利かなかった。やはり担任は応募の時点から学生の動向を知っておくべきだと思われるので、この点でも改善が必要である。

最後になるが、本行事を企画、実行するに際して、多くの教職員の皆様からご助言、ご指導、ご支援を頂いた。本紙上をお借りして心から感謝申し上げます。

(図1) 日程表

月日(曜)	都庁名	時間	交通機関	行	食事	宿泊地
1 9/1 (火)	成田	21:10	日本航空 JL761	成田空港集合 翌朝、ブリスベンへ。	朝: / 昼: / 夕: 機内 夜: 機内	機内
2 9/2 (水)	ブリスベン	7:05	乗船バス	朝: 朝、ローマのフィッシャー・ブライク高等学校の校舎へ参加者がエントランスとラスタ ブリスベン、キルン(ブライク) ホストファミリーと昼飯、参加者へ。	朝: 機内 昼: 機内 夕: 機内	ホームステイ
3 9/3 (木)	ブリスベン	8:30		午前: 英語のレッスン 午後: ブリスベンの街歩き(ブライク) 朝: 朝、昼飯、学習など	朝: 各家庭 昼: 学校 夕: 各家庭	ホームステイ
4 9/4 (金)	ブリスベン	6:30		午前: 英語のレッスン 朝: 朝、昼飯、学習など	朝: 各家庭 昼: 学校 夕: 各家庭	ホームステイ
5 9/5 (土)	ブリスベン			朝: 朝、ホストファミリーと過ごす。	朝: 各家庭 昼: 学校 夕: 各家庭	ホームステイ
6 9/6 (日)	ブリスベン			朝: 朝、ホストファミリーと過ごす。	朝: 各家庭 昼: 学校 夕: 各家庭	ホームステイ
7 9/7 (月)	ブリスベン	8:30		午前: 英語のレッスン 午後: クイーンズランド工科大学キャンパスツアー 朝: 朝、昼飯、学習など	朝: 各家庭 昼: 学校 夕: 各家庭	ホームステイ
8 9/8 (火)	ブリスベン	8:30		午前: 英語のレッスン 午後: 各家庭訪問 朝: 朝、昼飯、学習など	朝: 各家庭 昼: 学校 夕: 各家庭	ホームステイ
9 9/9 (水)	ブリスベン	6:30	乗船バス	午前: 英語のレッスン 午後: 各家庭訪問 朝: 朝、昼飯、学習など	朝: 各家庭 昼: 学校 夕: 各家庭	ホームステイ
10 9/10 (木)	ブリスベン	6:30		午前: 英語のレッスン 午後: 朝、昼飯、学習など(ブリスベンの街歩きなど)。	朝: 各家庭 昼: 学校 夕: 各家庭	ホームステイ
11 9/11 (金)	ブリスベン	8:30		午前: 英語のレッスン 午後: コミュニカスホームセンター	朝: 各家庭 昼: 学校 夕: 各家庭	ホームステイ
12 9/12 (土)	ブリスベン	6:30	乗船バス	午前: 各家庭訪問(ブリスベンの街歩き)	朝: 各家庭 昼: 学校 夕: 各家庭	ホームステイ
13 9/13 (日)	ブリスベン	午後		各家庭訪問(ホテルへ)	朝: 各家庭 昼: 学校 夕: 各家庭	ホテル
14 9/14 (月)	ブリスベン	8:45 17:05	乗船バス 日本航空 JL762	ホテルからブリスベン空港へ 日本航空にて成田空港まで 成田到着後解散	朝: 機内 昼: 機内	機内

(図2) Certificate の表面




(図3) Certificate の裏面

STUDENT ACHIEVEMENT PROFILE FOR - A. Student					
LEVEL	GENERAL ENGLISH	READING	WRITING	GRAMMAR	SPEAKING & LISTENING
6 ADVANCED	Has command of the English language in a wide range of real-world situations with only occasional lapses in comprehension, accuracy and fluency e.g. can discuss a range of issues, express opinions effectively, understand announcements, speeches and broadcasts, read and understand newspaper and magazine articles and write non-specialised texts of a descriptive, narrative and discursive nature, such as letters, articles, instructions and messages.				
5 UPPER INTERMEDIATE	Has general command of the English language in most real-world situations although occasional inaccuracies, misapprehensions and misunderstandings are apparent e.g. has control of the language in most, non-technical topics, follows authentic news articles, interviews and spoken exchanges. Consider fluency and accuracy is evident in more complex written genres.				
4 INTERMEDIATE	Has control of English language situations in familiar topics although noticeable errors in comprehension, accuracy and fluency occur when new language is introduced e.g. can understand some authentic news articles, short factual texts, advertisements and manuals. Shows increasing capacity to write and speak using a wider variety of genres.	Level Achieved	Level Achieved	Level Achieved	Level Achieved
3 PRE-INTERMEDIATE	Can communicate general meaning and comprehend basic texts in a range of simple and familiar language situations. Spoken and written English satisfies basic everyday social and routine needs e.g. can carry on a general conversation about self, ask for directions, make a simple complaint, and understand short authentic dialogues and written texts. Ability to complete short, descriptive and narrative writing tasks is evident (such as letters and postcards).				
2 ELEMENTARY	Can communicate and comprehend general meaning in a limited range of familiar situations in order to satisfy basic everyday social and routine needs e.g. can understand and participate in basic conversations at the bank and shops, can follow basic instructions, can answer basic questions about self, can read and understand basic messages, labels and notices, can complete basic forms and write short descriptive or narrative texts.				

Note: Any comparison with the University of Cambridge Local Examinations Syndicate (UCLES) IELTS band scoring system or the TOEFL scoring system is offered as a guide only and is not endorsed by UCLES or SYLVAN Prometric.

(図 4) Student Progress Report



SARINA RUSSO SCHOOLS AUSTRALIA
 RUSSO ENGLISH AUSTRALIA
 RUSSO COLLEGE AUSTRALIA
 RUSSO SCHOOL OF HOTEL & TOURISM AUSTRALIA
 RUSSO INSTITUTE AUSTRALIA


Student Progress Report

Student Name: Example

Date: 14 September 2009

CLASS	Teacher's Name	Achievement	Teacher's comments
Reading Pre-Intermediate	Rebekah	HA	
Grammar Intermediate	Ali	SA	
Speaking Pre-Intermediate	Jane	VHA	

VHA: Very High Achievement HA: High Achievement SA: Satisfactory Achievement E: Efficient



Phone: +61 7 3221 5100 | Fax: +61 7 3221 5161 | 82 Ann Street, Brisbane | sarinussos.com.au | address@sarinussos.com.au
 ACRN 010 129 295 | ABN 90 101 292 25 | Registered Trade School, Sarina Russo Schools Australia | CMC 000 Provider Code: 03597

(図 6) 予定表 2



SARINA RUSSO SCHOOLS AUSTRALIA
 RUSSO ENGLISH AUSTRALIA
 RUSSO COLLEGE AUSTRALIA
 RUSSO SCHOOL OF HOTEL & TOURISM AUSTRALIA
 RUSSO INSTITUTE AUSTRALIA



DAY 7 - TUESDAY 8 Sept
 Breakfast @ Homestay, Make your own way to school
 8:15-8:25 Attendance Check @ Lower Ground Recreation Area
 8:30-11:50 English Classes with other International Students
 12:00-13:00 Lunch: Provided by Homestay
 13:00-16:00 Activity Brisbane Port Visit - meeting point - In front of the school (Dismiss @ SEBEL Hotel)
 Make your own way to home, Dinner @ Homestay

DAY 8 - WEDNESDAY 9 Sept
 Breakfast @ Homestay, Make your own way to school
 8:15-8:25 Attendance Check @ Lower Ground Recreation Area
 8:30-11:50 English Classes with other International Students
 12:00-13:00 Lunch: Provided by Homestay
 13:00 Free time - suggestions: City Markets, City Ferry Cruise
 Make your own way to home, Dinner @ Homestay

DAY 9 - THURSDAY 10 Sept
 Breakfast @ Homestay, Make your own way to school
 8:15-8:25 Attendance Check @ Lower Ground Recreation Area
 8:30-11:50 English Classes with other International Students
 12:00-13:00 Lunch: Provided by Homestay
 13:00-16:00 Activity: meeting point - In front of the school
 Queensland State Museum & Queensland Art Gallery
 Dismiss @ Brisbane Square
 Make your own way to home, Dinner @ Homestay

DAY 10 - FRIDAY 11 Sept
 Breakfast @ Homestay, Make your own way to school
 8:15-8:25 Attendance Check @ Lower Ground Recreation Area
 8:30-11:50 English Classes with other International Students
 12:00-14:00 Graduation Ceremony - Principal's speech, Photos & Lunch
 Make your own way to home, Dinner @ Homestay


DAY 11 - SATURDAY 12 Sept
 Breakfast @ Homestay
 8:30 Meeting Point (In front of SEBEL Hotel)
 8:30-17:30 Full Day Activity
 Make your own way to home, Dinner @ Homestay

DAY 12 - SUNDAY 13 Sept
 Breakfast & Lunch @ Homestay
 (Dismiss @ Homestay, Drop Off by Homestay)
 14:00 Check In @ B&B Hotel on Turbot Street



Phone: +61 7 3221 5100 | Fax: +61 7 3221 5161 | 82 Ann Street, Brisbane | sarinussos.com.au | address@sarinussos.com.au
 ACRN 010 129 295 | ABN 90 101 292 25 | Registered Trade School, Sarina Russo Schools Australia | CMC 000 Provider Code: 03597

(図 5) 予定表 1



SARINA RUSSO SCHOOLS AUSTRALIA
 RUSSO ENGLISH AUSTRALIA
 RUSSO COLLEGE AUSTRALIA
 RUSSO SCHOOL OF HOTEL & TOURISM AUSTRALIA
 RUSSO INSTITUTE AUSTRALIA

Tokyo Metro Technology College TELL+ Program Study Tour

2nd - 13th Sept 2009

Study Schedule

DAY 1 - WEDNESDAY 2 Sept
 13:15 Welcome @ Sarina Russo Schools Australia
 13:30 English Level Check Test
 Speaking interview and Introduction
 16:00 Orientation & Summary (Japanese)
 16:30-17:15 Homestay Meet & Greet
 Dinner @ Homestay


DAY 2 - THURSDAY 3 Sept
 Breakfast @ Homestay, Make your own way to school
 8:15-8:25 Attendance Check @ Lower Ground Recreation Area
 8:30-11:50 English Classes with other International Students
 12:00-13:00 Lunch: Provided by Homestay
 13:00-15:00 Activity: meeting point - In front of the school
 City Explore by foot - Antac Square and more
 Dismiss @ King George Square
 Make your own way to home, Dinner @ Homestay

DAY 3 - FRIDAY 4 Sept
 Breakfast @ Homestay, Make your own way to school
 8:15-8:25 Attendance Check @ Lower Ground Recreation Area
 8:30-11:50 English Classes with other International Students
 12:00-13:00 Lunch: Provided by Homestay
 13:00 Free time - suggestions: Southbank Markets, Police Museum
 Make your own way to home, Dinner @ Homestay


DAY 4 - SATURDAY 5 Sept
 Full-day FREE with Family
 Breakfast, Lunch & Dinner @ Homestay

DAY 5 - SUNDAY 6 Sept
 Full-day FREE with Family
 Breakfast, Lunch & Dinner @ Homestay

DAY 6 - MONDAY 7 Sept
 Breakfast @ Homestay, Make your own way to school
 8:15-8:25 Attendance Check @ Lower Ground Recreation Area
 8:30-11:50 English Classes with other International Students
 12:00-13:00 Lunch: Provided by Homestay
 13:00-16:00 Activity: meeting point - In front of the school
 Queensland University of Technology Visit
 Brisbane City Botanical Garden
 Dismiss @ Brisbane Square (top of Queen St Mall)
 Make your own way to home, Dinner @ Homestay



(図 7) 最初の宿題



SARINA RUSSO SCHOOLS | AUSTRALIA
 ACTIVITY SHEET

Activity Sheet NO DORFU

The purpose of this sheet is to familiarise Japanese student(s) with the rules and routines of your home, and to have good communication between you and the student(s). Please answer to the following questions and give this to the Japanese student(s) on the first day.

Host Family Name: _____ Phone: _____

Address: _____

Student(s) Name: _____

1. What time do you usually wake up in the morning?
 朝はいつも何時くらいに起きますか？

2. When may we take a bath or shower?
 お風呂やシャワーは何時ごろ入れますか？

3. How long do you usually spend taking bath or shower?
 お風呂やシャワーはいつも何分くらい入っていますか？

4. Should we do our own laundry? If so, may we use your washing machine?
 洗濯は自分ですべきですか？もしそうなのであれば、洗濯機を使ってもいいですか？

5. May we use the phone? How late is it acceptable to receive call for us?
 電話を使ってもいいですか？かかってくる電話は夜何時までがよいですか？

6. How should we pay for the calls when we use your telephone?
 電話を使った場合、電話代はどのようにお支払いしたいですか？
